

反映状況票

(単位:百万円)

府省名	調査事業名	調査主体	取りまとめ財務局	3年度予算額	4年度予算案	増▲減額	反映額
文部科学省	(11) いじめ対策・不登校支援等総合推進事業(スクールカウンセラー等活用事業及びスクールソーシャルワーカー活用事業)	共同	(中国財務局)	7,483の内数	7,978の内数	495の内数	—
事案の概要	いじめや不登校等の未然防止・早期発見・早期対応を行うために、スクールカウンセラー(以下「SC」という。)やスクールソーシャルワーカー(以下「SSW」という。)等の教育相談体制を整備し、生徒指導上の諸課題への対応に向けた取組を推進している。なお、SC等は全公立小中学校(27,500校)、SSWは全中学校区(10,000中学校区)への配置に加え、いじめ・不登校対策や貧困対策等のための重点配置をしている。						

調査結果の概要及び今後の改善点・検討の方向性

1. SC、SSW等の配置について

- 文部科学省は、SC、SSW等の配置について、自治体に定量的な指標例を示し、効果検証に実効性を持たせ、配置が効果的・効率的となるような仕組みにすべき。また、効果検証を行っていない自治体の申請が、単に例年どおりの申請となっていないか検証を行うべき。

2. SC、SSW等の重点配置について

- 文部科学省は、SC、SSW等の重点配置について、各自治体の参考となるよう定量的な指標(申請・効果検証)等を検討し、例示すべき。
- また、重点配置の申請について、自治体が配置目的に係る定量的な指標を設定し、効果検証を行うことにより、エビデンスに基づいた効果的・効率的な重点配置に繋がる仕組みにすべき。

3. 教職員との役割分担について

- 文部科学省は、専門家と教職員の役割分担を明確にしていない自治体、検討・進行中の自治体に対して、より教職員の負担軽減に資するよう、教職員とSC、SSW等が担うべき業務を明確化した取組事例の展開等を行うべき。

4. SC等の資質向上について

- 各自治体において、SC等の資質向上が課題と認識されているとおり、現在配置されているSC等の資質の向上は最重要事項であり、文部科学省は、引き続き各自治体で効果的な研修が実施されるよう取り組むべき。
- また、SCに準ずる者を今後活用していく上で、文部科学省において、SCに準ずる者の優良活用事例を展開していくとともに、現在配置されているスーパーバイザーを更に活用するよう周知・徹底すべき。

反映の内容等

1. SC、SSW等の配置について

- 文部科学省は、配置に係る定量的な指標例を示すとともに、各自治体が効果検証のための指標を事業計画書に設定するよう変更し、効果的・効率的な申請及び配置となるよう見直しを行うこととしている。
- さらに令和5年度事業の申請から、事業計画書の指標に対する効果検証結果を記載するよう見直しを行い、定量的な指標に基づく効果検証結果や取組状況等を踏まえた申請をしている自治体に対して、配置を行うこととしている。

2. SC、SSW等の重点配置について

- 文部科学省は、重点配置に係る定量的な指標例(申請・効果検証)を示すとともに、各自治体が指標(申請・効果検証)を重点配置の計画書に設定するよう変更し、効果的・効率的な申請及び配置となるよう見直しを行うこととしている。
- さらに令和5年度事業の申請から、重点配置の計画書の指標に対する効果検証結果を記載するよう見直しを行い、定量的な指標に基づく効果検証結果や取組状況等を踏まえた申請をしている自治体に対して、重点配置の優先配分を行うこととしている。

3. 教職員との役割分担について

- 文部科学省は、令和4年度に作成する事例集において、より教職員の負担軽減に資するよう、教職員とSC、SSW等が担うべき業務を明確化した取組事例を展開するとともに、関係会議においても自治体の取組事例を周知することとしている。

4. SC等の資質向上について

- 文部科学省は、独立行政法人教職員支援機構が実施する各自治体の指導主事等向けの研修において、SC等における資質向上の取組状況の情報共有などSC等の資質向上に向けた内容の充実を図ることとしている。
- また、令和4年度に作成する事例集において、SCに準ずる者の特性を活かした効果的な活用事例を展開するとともに、スーパーバイザーを活用している自治体の取組の周知を行うこととしている。